

# 神奈川医労連キューバの医療・看護と歴史・自然に触れる旅本格第1報

2018. 6. 5朝 (シェラトン・ラ・ハバナ)

羽田～ハバナ着～国立Hermanos Ameijeiras病院

改めて登場人物紹介

Mt・松原 Mr・丸山 Ni・新田 Us・牛込 Ks・笠原 No・野地 Nh・中平 Ns・中嶋  
Wt・鷲森パパ Wh・鷲森ママ It・市川パパ Im・市川ママ Ksi・柏木 Am・雨宮 Ue・植木

ふたたび羽田集合・6/3 PM2時

## ○連続出勤のNhママ

前日は2人で京急の〇〇弁当を変えないまま羽田へ。今日もママは羽田。あとの報告によれば、3ヒ朝5時起床、京急の〇〇弁当を購入のため並び、見事ゲット。そして羽田へ。心配な？仲の良い？ママはチェックインは当然、手荷物検査直前まで長～～いお付き合いでした。

## ○羽田空港国際線ターミナル熟知の面々

### ☆海外対応スマホに余裕切り替えKsi

デジカメ不具合で自宅にコンビニから送り返すことを決意、実船。その後は「そうだ」と須磨穂を空港内の店舗で海外対応に。

### ☆この3月退職。3ヶ月目に入り2回の海外

福島から参加(以前県医労連の組合員)のNoは6/1千葉の親戚宅から羽田のターミナルに。以前と変わらぬNo笑顔で～～す。

### ☆よく続くおしゃべり Us・Ks

ずっとしゃべり続けた羽田の夜。でもまだ話したりなかった？由。

### ☆上記+Mr

3日は日曜日、昼は並んでラーメンだったヨシ。

### ☆なんで今鍋洗ってるんだろう？Mt

2日は入院拒否(視察中、入院予定だった)(やむなく妹と知人が勤務ダイヤを作り見守り、介護にあたる)の母の下に。本来機内食の時間に鍋を洗っていた私。

### ☆腰痛・ぎっくり腰を抱えて参加のNi

介護中の母をショートに。そして参加。だましましだったが、とにかく必死で昨日カナダeTA取得のためスマホに不自然な姿勢で入力続け腰痛・歩行困難？が…。

そんなこんなでハバナに

## ☆車いす使用で搭乗手続きは別ルート…果たしてその結末は？

羽田は私たちもイメージつきます。途中で車いす使用・借用も言葉も通じるから大丈夫。でも途中カナダ・トロントのトランジット含め車椅子申請しておくのと良いとエアカナダのアドバイスもあり…。

ところが…ところが…。

トロントでのトランジットで、一般者と車いす使用(付添1人も含め)者は、全くルートが違い、私たちのイメージではエアカナダの職員が、トランジット、ハバナへの搭乗口まで付き添ってくれると思いきや全く違い、カナダへの入国審査が終わった途端突き放されたNiとNo。メンバーはどこで待っているの？誰もいない。とにかく搭乗口に…。言葉とボディランゲージ、チケット活用、車いす、歩行で、途中カートに拾ってもらい、ようやくみんなと合流。やれやれ。

### ★トランジットの摩訶不思議。

カナダ入国チェックはマシンにパスポートを入れるだけ。チケットが1枚でくるだけ。でもそれはどこに見せるでもなく、チェックもない。機内で書いた？（書いてもらった？）書類はどこでも必要なし。（車いす使用・介助者？は回収された由。

とにかく搭乗口にと延々と歩く、人込み。搭乗口かどうか？と言いながら並ぶが時間前。集合場所で人員チェック。1人不足。トイレにしては長いと探索。なんとなんと結局はMtはゆったり歯磨き（確かに長旅でその気持ちはわかるが…）中でした。みんなは集合していた。

喉の渇きもあり、カナダドル保有のW夫妻、I夫妻は飲み物ゲット。ここでカード使用者もあり。

### ★それより12時間以上の羽田～トロントのフライトの過ごし方

ひたすら寝る、飲む、食べる。ゲーム、映画、それぞれの心と体にずっしりと。

## ようやくハバナ

トロントからハバナは3時間のフライト。時差もなし。その間、夕焼けのショー。

到着は深夜でした。

### ★トラブル発生

Ueのトランクが行方不明…

★なのでシェラトンハバナホテル到着は1時過ぎ、ロビーは到着時真っ暗。暗闇の中でチェックインの手続き。深夜2時ころようやく各自部屋に。

…以下略…

## 盛りだくさんの6月4日

AMは市内観光。モロ要塞等等…。とにかく暑い。汗だくだく。

PMメインの国立病院視察。今までで一番充実してたかな？2時間でしたが、日本の現状も訴え、キューバの状況、病院の状況を聞きました。対応していただいたのは広報部長、副院長、国際病棟責任者（Dr）、看護部長、副看護部長、病棟看護師長など。

詳細はUsから報告が出ます。

### 皆が感じたこと？

○説明の医師は、医療・福祉・教育は国の責任で100%実践。

○私達が、Nsの勤続年数、平均年齢、勤務時間、労働条件を次々に質問。

○参加のDr、看護部長、看護師長は皆、何でそのことが問題なのかと。週労働時間は40時間、残業はない。夜勤専門の選択も可能。参加の看護師はそれぞれ3人の子育てをして60歳定年までは働く。説明でもほとんどの人たちは定年まで働くであった。ごくまれに若くてやめる人もいるが。

○医療は保健ではない。国がやること。

### 現地ガイドの説明で勤労者の実態・国民の生活の実態

○上下水道不十分。トイレに紙（トイレットペーパー）を流すな。

○紙がない・購入が難しい。物が無い。…これは皆が体験。

ティッシュペーパー（ホテルにない）、トイレットペーパー、ノート、レポート用紙など

○ホテルで突然停電（全室ではない、ここに節電・計画停電か？）

等等インフラ不十分？

○誰でも教育・医療・福祉を受ける権利、受けさせる義務がある。

でも機械不足。どこにお金をかけるか？

**発見：葉巻・ラム酒等どこで買っても値段は同じ。**